

津山で行う12の美作国建国1300年記念事業。先月号に続き、6つのイベントや事業の紹介をします。

美作国大茶華会



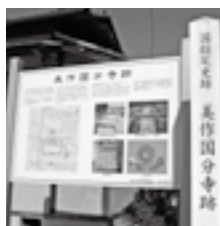
鶴山公園など市内のさまざまな場所に、お茶席と生け花を設置して、城下町の雰囲気を感じてもらいます。

美作国分寺跡の建物平面表示



国指定史跡である美作国分寺の建物跡を平面的に表示することで往時の建物の位置や大きさなどを体験してもらいます。

第9回全国国分寺サミット2013 in美作国分寺



とき 10月12日(土)、13日(日)
 全国の国分寺跡を有する自治体が集まり、史跡を活用したまちづくりについて、基調講演やパネルディスカッション、現地見学会などを行います。

津山城天守復元

～今こそ和つしよい津山城～

とき 8月初旬完成
ところ 鶴山公園
 発泡スチロールとベニヤ板を使った高さが2分の1の模擬天守を復元し、郷土愛の醸成や観光振興につなげていきます。



▲ありし日の天守閣

企業でPRしよう！美作国建国1300年

ステッカーやシールを作成し、タクシー車両や店舗に掲示、名刺に貼って建国1300年をPRします。
 また、接遇研修などを行い、おもてなしの心を高めます。



▲車に貼られたステッカー

全国京都会議中国四国ブロック会議

とき 11月下旬
ところ 津山国際ホテルほか
 中四国地区の小京都と呼ばれる12都市と京都市が交流を深めるため、基調講演や会議、エスカーション（参加者も活発に意見を交わすなど、体験や理解を深めていく現地説明会）などを行います。

美作国建国1300年記念事業実行委員会 ☎35・3434

※4月3日の乗車は予約が必要です。申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください



▲NARUTOラッピング列車のために書き下ろされたイラスト

美作国建国1300年記念日セレモニー
■記念日セレモニー
■NARUTOラッピング列車
とき 4月3日(水)～平成26年3月下旬
ところ 鶴山公園
内容 美作国建国1300年PR大使「SakuLove」と市民の歌の共演、1300個の風船飛ばしなど

きらめく 津山人

劇団スイセイ・ミュージカル女優
植月美帆さん
 (津山市出身)

昨年10月に開催されたミュージカル「楽園」に準主役で凱旋公演を果たした植月さんにお話を伺いました。
ミュージカルを始めたいきっかけは？
 小学6年生の時、従兄弟から、こどもミュージカル劇団に誘われたことがきっかけです。
 中学1年生からは、勝北地域の演劇団体「風と光と心の劇場」に6年間所属して、主役を演じたり、作詞や舞台の影絵作りなど裏方をしたりして、ますますミュージカルに関心を抱くようになりました。そこで、高校卒業後は、専門的に演劇を学ぶために芸術大学へ進学しました。大学を卒業後、上京して芸能事務

ミュージカルの魅力は何ですか？
 舞台を通してさまざまな人と出合えることが魅力です。初めて舞台に立ち、みんなで一つの作品を作り上げる達成感を味わった時から、舞台の虜になってしまいました。裏方の仕事も縁の下力持ちのようなどころがあり、演者と共に舞台を作り上げる一体感が感じられて好きです。
 今は、日々の舞台で、毎回変わるお客さんの反応を受け「感動は、劇場にいる観客や演者、裏方、全ての人でつくるもの」だと実感しています。
役を演じるために気を付けていることは何ですか？
 普段から人間観察をして、演技の引き出しを増やせるようにしています。
 「楽園」では、気性が激しい女性・カレア役で、特に「人を殺したい」



▲「楽園」でカレアを演じる植月さん

津山の人に伝えたいことは？
 地元津山を、もっともっと好きになってほしいです。津山は音楽文化都市だと思っているので、さらに大きくなってほしいです。また、子どもたちには「夢の実現に向けてあきらめないで」と伝えたいですね。
 3年ぶりに帰郷した植月さん。笑顔があふれる愛らしい人でした。次の地元公演が早く実現するといひです。

今後の目標は？
 劇団や支えてくれる皆さんの期待に応えられるよう、人から愛される女優になりたいです。
 今回の公演で、地元の人たちの笑顔を見て、わたしも元気をもらいました。津山で公演することが地元への恩返しだと思っているので、また、帰ってきたいです。

人から愛される
 女優になりたい

